

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		産後ケア					所管	健康部 保健サービス課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	7	計画事業名	産後ケア			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現 [施策] 1 妊娠期から子育て期の切れ目のない支援					[事業開始] 平成 29 年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕		台東区産後ケア事業実施要綱、(都)出産・子育て応援事業実施要綱、(国)母子保健医療対策等総合支援事業実施要綱					
	事業対象	直接の対象 : 体調不良・育児不安があり、家族等からの援助が受けられない産後4か月未満の母子 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	産褥期の母親の心身安定と育児不安の解消を図り、産後うつ・虐待等を未然に防止するとともに母子の健康の維持及び増進に必要な支援を行う。								
	事業内容 [H30年度]	宿泊型サービス: 区が委託する産科医療機関・助産所において、産後の休養と助産師等による心身のケアや育児サポート等の支援を行う(区内2か所、区外2か所) 外来型乳房ケア: 区が委託する助産所において助産師がマッサージ等を行い、乳房トラブルを解消するとともに、授乳指導、心身のケアや育児サポート支援を行う(区内3か所、区外1か所)								
	委託の有無	一部委託	委託内容		宿泊型サービス及び外来型乳房ケアの提供					
補助金の有無	国・都									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	実施施設数【宿泊型サービス】	箇所	4	-	3	4	4	100.0%	
		実施施設数【外来型乳房ケア】	箇所	5	-	2	4	4	100.0%	
	成果指標	利用者満足度【宿泊型サービス】	%	100.0	-	100.0	93.0	100.0	93.0%	
		利用者満足度【外来型乳房ケア】	%	100.0	-	92.0	98.0	100.0	98.0%	
	決算額 (単位: 千円)				H28年度		H29年度		H30年度	
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト (人件費など)			-		10,475		13,875	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			-		6,972		13,995	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			-		7,560		0	
総経費			-		25,007		27,870			
財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			-		0		0		
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			-		14,531		13,401		
	一般財源 (区負担額)			-		10,476		14,469		
課題及び今後の進め方	施設によって利用条件が若干異なっており、対象者によっては利用できないケースが発生している。今後も引き続き、利用者の利便性を図っていく必要がある。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	産前産後の切れ目のない支援の一環として、産褥期における母親の心身の安定と育児不安の解消を図り、産後うつ・虐待等の未然の防止に繋げることのできる本事業の必要性は高い。							
	効率性	3	利用者数が増加しているためコスト増となっているものの、事業の実施にあたっては、区内の施設だけでなく、隣接区の施設とも委託契約を結び、効率的な運営に努めている。							
	手段の適切性	4	宿泊型サービスの利用にあたっては、専門職である保健師が利用希望者に対して面接を行い、コーディネートすることで関係機関との連携を密にしており、切れ目のない支援に繋げている。							
目的達成度	3	実施施設は利用しやすい区内及び隣接区にあり、産褥期の母親が利用したいときに利用できる環境を整備している。また、利用者からの満足度はおおむね良好である。								
【総合評価】 ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
産褥期の母親の心身の安定と育児不安の解消を図り、産後うつ・虐待等を未然に防止することを目的とした本事業の必要性は高く、利用者数は増加傾向にある。また、利用者からの満足度も良好であり、今後も引き続き、利用者の利便性を図っていくことが必要である。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		